

貸 借 対 照 表

(2021年 3月 31日現在)

単位：千円

(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	8,020,937	流動負債	9,349,056
現金及び預金	2,732	支払手形	2,433,380
売掛金	4,222,991	買掛金	5,684,228
商品及び製品	368,803	未払金	97,681
原材料及び貯蔵品	584,720	未払費用	610,431
半製品及び仕掛品	443,382	未払法人税等	214,648
預け金	2,262,423	預り金	3,224
未収入金	76,832	賞与引当金	218,977
その他	59,051	その他	86,485
固定資産	9,960,757		
有形固定資産	(9,650,416)		
建物及び構築物	2,120,544	負 債 合 計	9,349,056
機械及び装置	6,124,542	(純 資 産 の 部)	
車両運搬具	13,515	株主資本	8,632,638
工具、器具及び備品	135,957	資本金	450,000
土地	1,230,982	資本剰余金	3,016,373
建設仮勘定	24,874	資本準備金	1,690,000
		その他資本剰余金	1,326,373
無形固定資産	(94,385)	利益剰余金	5,166,264
ソフトウェア	36,911	利益準備金	226,447
借地権	53,498	その他利益剰余金	4,939,817
施設利用権	3,975	別途積立金	2,090,000
		圧縮記帳積立金	114,676
投資その他の資産	(215,955)	繰越利益剰余金	737,141
長期預け金	3,438		
前払年金費用	59,963		
繰延税金資産	152,553		
		純 資 産 合 計	8,632,638
資 産 合 計	17,981,695	負 債 純 資 産 合 計	17,981,695

個別注記表

〔 2020年 4月 1日から
2021年 3月 31日まで 〕

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

- (1) 棚卸資産……………総平均法による原価法
(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

2. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産（リース資産を除く）
建物……………定額法
その他の有形固定資産……………定額法
(2) 無形固定資産（リース資産を除く）……………定額法

3. 重要な引当金の計上基準

- (1) 賞与引当金
従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額のうち当事業年度末までに発生していると認められる額を計上しております。
- (2) 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

- (1) 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方法によっております。

5. 重要な会計方針の変更

重要な会計方針の変更はございません。

貸借対照表に関する注記

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 有形固定資産の減価償却累計額 | 23,770,120千円 |
| 2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務 | |
| 短期金銭債権 | 5,211,493千円 |
| 短期金銭債務 | 474,834千円 |

損益計算書に関する注記

関係会社との取引高	
営業取引の取引高	
売上高	29,007,186千円
仕入高	470,155千円
営業経費	1,708,161千円

税効果会計に関する注記

繰延税金資産の主な原因は、減価償却費超過額、退職給付引当金の否認等であり、将来回収可能な一次差異を限度値として計上しています。

1 株当たり情報に関する注記

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 1株当たり純資産額 | 47,959円10銭 |
| 2. 1株当たり当期純利益 | 2,861円44銭 |

重要な後発事象に関する注記

重要な後発事象はありません。

当期純損益	当期純利益	515,059千円
-------	-------	-----------